

構造システムと施工の注意点

いわゆるブレース構造であり、構造システムとして木造の特徴はないが後述するようにモデル化においては、鉄骨造と異なる配慮が必要となる。

解析モデルと断面算定

木質構造の接合部は母材以上の強度、剛性にするのは難しい。よってブレース材や柱梁のヤング係数や断面性能のみによってモデル化した場合には変形が小さく計算されるため、本実験のせん断力-変形関係を用いてブレース置換モデルを用いるか、接合部の軸力-変形性能と母材のヤング係数と断面性能から求まる軸力-変形関係の直列バネを用いる、あるいはモデル上に付加することによりモデル化する。

バリエーション

本資料の実験では逆V型のブレース架構とした。ブレース下部を通り抜け空間として利用することも可能としている。K型、V型などの構成も可能である。